おもてなしのチカラで地域を元気に！

福井県敦賀市　特定非営利活動法人THAP（タップ）

米原からの特急列車で敦賀駅に降り立つと、歴史のある長いホームに隣接して、開業を間近に控える北陸新幹線の高架橋が立ち並ぶ。敦賀は古くから日本海側の交通の要衝として栄えた町。かつては東京から「欧亜国際連絡列車」が発着し、ロシアのウラジオストク直行の船に連絡してシベリア鉄道経由でヨーロッパ各地まで通じていた。

港に行くと「人道の港　敦賀ムゼウム」という博物館がある。戦前、ポーランド孤児やユダヤ難民が逃れ上陸した日本で唯一の港となり、当時の敦賀の人たちが銭湯を無料開放するなど温かく受け入れた歴史を伝える。「鉄道と港のまち」敦賀は、「やさしいまち」としての歴史も持っている。

朝9時、日本三大木造大鳥居の一つ、氣比神宮大鳥居前の交差点に、高校生からベテランまで多世代の方が集う。本日は毎月第2・4日曜日に行う「敦賀おもてなし隊」（以下、おもてなし隊）の活動日。商店街の清掃活動のあと、氣比神宮において観光客への写真撮影とまちの案内を行う。

おもてなし隊は、敦賀のまちづくりに20年以上取り組む特定非営利活動法人ＴＨＡＰ（理事長：池田裕太郎さん）が、北陸新幹線の敦賀開業が近づくなか、「敦賀を訪れる観光客が地元の人のやさしさや人情に触れて感動してもらえれば」との思いから始めた活動だ。

参加はＱＲコードから手軽に申し込みができる。敦賀市内の高校生、学校の先生、ＰＴＡの方、氣比さん参道いきいき会議、ＴＨＡＰメンバーなど総勢32人が集まった。冒頭、池田さんから「観光のお客さんや商店街の方に元気よくあいさつしましょう」と呼び掛ける。

参加者はお揃いのジャケットを着用して、4か所のアーケード商店街のエリアに分かれる。一見きれいに見える歩道の隅には吸い殻やペットボトルが隠れていて、こうしたポイントを手際よく見つけてトングで拾うと、ゴミ袋はたちまちいっぱいになった。

「もう会員と同じやな」とスタッフから声を掛けられるのは、敦賀気比高校3年生の加藤涼さん。今日で6回目の参加になる。「街の美化に気軽に貢献できて、得した気持ちになります」とのこと。

敦賀のお勧めを聞いてみると「相生商店街の奥には博物館があって、敦賀祭りで出る山車（やま）が展示され、歴史を知ることができます。食事はソースカツ丼で有名なヨーロッパ軒、市内5か所にあります」など詳しくガイドをしてくれた。敦賀の歴史や文化を勉強してきたところ、愛着がより深まったそうだ。

10時半からは大鳥居前で写真撮影のボランティア。おもてなし隊隊長の藤森和明さんから「マスクをしながら笑顔で。撮影だけでなくコミュニケーションが大切です」と参加者に呼び掛ける。

高校生は、神宮前の多目的スペース「KAGURU」からお借りした銀河鉄道999のキャラクターの衣装を着用し、「写真お撮りします」の看板を手に、笑顔で観光客に声を掛ける。千葉県から来た方は「家族全員を写してもらえるのでありがたいです。大人と子どもが一緒におもてなしをしているのが良い印象ですね」と嬉しそうな様子。

おもてなし隊の活動には、多くの市民に参加してもらいたいと、池田さんは、藤森さんと敦賀市内すべての高校を回り、参加を呼び掛けた。今では、生徒が自分の意思で参加するようになり、おもてなしの定着に手ごたえを感じている。毎回

の活動の様子をSNSで発信し、高校生に理解してもらっているのも気軽な参加につながっているようだ。

おもてなし隊を立ち上げた特定非営利活動法人THAPは、1999年の敦賀港100周年記念事業をきっかけに、市民の力でおもてなしをしようとボランティアネットワークを立ち上げ、閉幕後も活動を継続していこうと2000年に結成された。

金ヶ崎緑地の定期清掃、日本遺産の鉄道遺産ストーリーを活かした3市町連携の活動、敦賀市公認キャラクター「ツヌガ君」の運営、東日本大震災の避難者への支援「とんとんキッズプロジェクト」、地域の伝統行事「夷子大黒綱引き」の復活、北陸新幹線開業まちづくり推進会議などの様々な活動を、THAPだけでなく各種団体と連携して、得意な分野を担当して取り組んでいる。

こうした行動力と間口の広さから、THAPには観光にとどまらず敦賀の様々な課題が引き寄せられてくる。池田さんはTHAPの活動は「何かのきっかけづくり」だと言う。組織は違っても同じチームとして、地域の問題を共有する場となり、まちづくりの起爆剤につながっていると感じている。

将来は、おもてなし隊の活動を毎週開催し、様々な団体が担い手になり、活動に参加する人がもっと増えてほしいと希望を持っている。「おもてなし隊の活動自体が敦賀の名物になっていくと良いですね」と、活動の中から、敦賀のまちづくりの伸びしろを感じているようだ。

おもてなしに関わる人は日々増えている。5年後10年後に敦賀を訪れるとき、おもてなしのチカラが、敦賀の魅力をさらに引き出していると思う。